

加藤順一氏の講演についての質問

慶應大学 工学部 南池 紀夫

質問者

コーシー問題に関して解の一貫性のない微分方程式に
対応した力学系について、おもしろい進展があるでしょうか。

講演者

いまのところ、あまり成功しているとは言えないよう
である。

質問者

Sacker & Sell のように抽象的(定性的)扱いではなく
具体的に方程式の係数の(定量的な)形から Exponential
Dichotomy の扱いを W. A. Coppel がやっている。

(これについて、東北大学の中島文雄氏から補足的説明が
あった。また、同氏の Exponential Dichotomy の成果
がまとまっているようである。)

講演者の関数微分方程式に対する拡張の試みには、触れ

うれしくて、残念に思いました。